

社会福祉法人杜の会

2022（令和4）年度

事業報告書

（2022年4月1日～2023年3月31日）



# I 社会福祉法人 杜の会 事業報告

## 1. 2022(令和4)年度事業報告について

2022年度は、3年目となるコロナ感染対策の1年となりました。1日の感染者が全国で26万人を超え、道内でも1万人に迫る数となる時もありましたが、法人内ではクラスターの発生もなく、職員も散発的に感染が報告される状態となりました。

これらの影響は、特に通所事業には顕著となり、利用者減を招く結果になりました。入所においては強化型を年初より算定し収益的には、減収を止めることができました。

法人役員については、5月に監事1名が体調不良による交代となりましたが、他の役員は変わりなく、業務を遂行しました。

職員は1年間として、11名増、16名減という人員数でしたが、パートタイマーの退職が目立ちました。給与・手当については、収益増を受けて年度末に期末手当を支給しました。

施設設備については、平和の杜では6月に入所、通所各フロアにエアコン設置工事を行い、又福井倶楽部においても、屋根とスプリンクラー設備の補修工事を施工しました。

## 2. 人財育成の強化

人事考課を開始した当初は、個人目標に関して職員が「やらされている」という意識で取り組む姿も見受けられましたが、5年が経過し、職員それぞれが法人で実現したい目標を自ら見つけ成長を感じた一年でした。法人に必要な人財育成教育と、「個」としての成長につながるよう取り組みました。

## 3. 理事会・評議員会等の開催状況

### 【理事会】

回	開催日	議事内容	
1	2022.5.23 (書面にて)	議決	1. 新役員(監事)候補者推薦の承認の件 2. 評議員会への提案の件
2	2022.6.8	報告	1. 2021(令和3)年度下半期苦情解決状況報告について 2. 理事長の職務の執行の状況について
		議決	1. 2021(令和3)年度事業報告の承認について 2. 2021(令和3)年度決算の承認について 3. 社会福祉充実残額の承認について 4. 評議員選任・解任委員会委員1名の承認について 5. 定時評議員会招集の承認について
3	2022.9.15	報告	1. 理事長の職務の執行の報告について 2. 2022年10月特別昇給者等の報告について
		議決	1. 社会福祉法人杜の会第三者委員の承認について
4	2022.12.13	報告	1. 理事長の職務の執行の報告について 2. 2022(令和4)年度上半期苦情解決状況報告について
		議決	1. 2022(令和4)年度資金収支1次補正予算の承認について
5	2023.3.16	報告	1. 理事長の職務執行状況の報告 2. 2022年度 期末手当の支給について 3. 2023年度 杜の会組織図について
		議決	1. 2023(令和5)年度資金収支最終補正予算の承認の件 2. 2023(令和5)年度資金収支当初予算及び事業計画の承認の件

			3. 特別業務職員（統括責任者、施設長、顧問）との雇用契約の件 4. 管理職（3名）の号棒の件 5. 社会福祉法人杜の会 給与規程の改訂施行の件
--	--	--	--------------------------------------------------------------------------------

【評議員会】

回	開催日	議事内容	
1	2022. 6. 1 (書面にて)	議決	1. 監事 1 名選任の件
2	2022. 6. 23	報告	1. 2021（令和 3）年度事業報告について 2. 2021（令和 3）年度下半期苦情解決状況報告について 3. 評議員選任・解任委員について
		議決	1. 2021（令和 3）年度計算書類（貸借対照表及び収支計算書）、財産目録の承認について 2. 社会福祉充実残額算定について

【第三者委員への報告】

回	開催日	議事内容	
1	2022. 5. 19	報告	2021（令和 3）年度下半期における苦情解決状況の報告
2	2022. 11. 1	報告	2022（令和 4）年度上半期における苦情解決状況の報告

4. 法人内各事業所の概況…次頁

- Ⅱ… (1) 介護老人保健施設平和の杜  
(2) 通所リハビリテーション  
(3) 平和の杜居宅介護支援事業所  
(4) 平和の杜訪問リハビリテーション  
(5) 平和の杜訪問看護ステーション
- Ⅲ… グループホーム福井倶楽部

5. 行政監査の実施

- ・特になし

6. その他

- ・第 4 回 杜の会夏祭り 新型コロナウイルス感染症対策の為中止（昨年、一昨年に引き続き）

## Ⅱ 介護老人保健施設 平和の杜

### (1) 介護老人保健施設 平和の杜

#### 1. 2022(令和4)年事業報告について

2022年度は加算型（在宅復帰・在宅療養支援機能加算Ⅰ）から在宅強化型へ移行し、より在宅支援に力を入れました。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、ベッド利用率は年間平均93%と苦戦しましたが、緊急の入退所に対応することができました。

利用者には、1年を通して新型コロナウイルスに感染することなく過ごして頂くことができました。

次年度は感染対策を緩和し、利用者・家族の笑顔のあるサービスを提供できるように支援します。

#### 2. 計画内容

##### (1) -1 利用者の尊厳の尊重

①利用者、家族の自己決定が尊重されるようにインフォームドコンセント（説明と同意）、インフォームドチョイス（説明と選択）を行いました。在宅復帰を目指してのリハビリテーションや長期療養のための施設の申し込みの支援等を行いました。

##### ②虐待防止・身体拘束廃止委員会

抑制廃止マニュアルの改定、虐待の芽チェックリストでの日々の業務を振り返る機会の提供、全事業所の虐待事例についての共有、検討を行い虐待防止・身体拘束廃止を取り組みました。

今年度は身体拘束の実施はありませんでした。委員会では身体拘束や虐待に繋がるようなケアがなされていないかについて「それってどうなの報告」として報告、検討を行いました。また、実際の事例に基づいた内部研修を行うことでケアの方法について話し合う機会を持ち日々のケアの振り返りを行いました。

##### (1) -2 安心・安全な生活

##### ①施設サービス計画の作成・変更

在宅復帰、長期療養を目標として利用される方と家族のニーズに合わせた計画を他職種協働で作成することができました。今後も利用者のニーズに合わせた計画を作成し、在宅復帰支援や長期療養支援の目標が達成できるように支援します。

##### ②事故防止対策委員会

今年度の事故報告は67件でした。前年度と比較し件数は倍になっていますが、昨年度途中で報告書の改定を行い、利用者への影響度による報告としたことが要因のひとつです。重大事故は8件あり、うち5件は転倒・転落による大腿骨骨折や頭部打撲による裂傷で、1件は介助時の骨折、2件は誤嚥、食事時の窒息による死亡事故でした。常に多職種協働で利用者の身体機能の評価を行い支援していますが、高齢者の事故は予測できないことがあるということを痛感しました。事故が起こってしまった時に利用者の生活に最小限の影響で済むことができるように事故、ひやりはっと報告が起こった際に原因の究明、防止策の立案を速やかに行い、受傷予防に努めることの重要性を再確認しました。

##### ③健康管理

健康管理について、施設長は定期的（1回/2w）に回診を実施しており、変化などにも極めて敏速に対応しておりますが、施設長が診察し医療機関での治療が必要と判断した場合は最善

の治療が可能な医療機関を選択し、利用者、家族に適切な場所での療養を提案しました。看護職員は健康状態の把握に努め、安心・安全な日常生活が過ごせる環境作りと在宅復帰のためのリハビリテーションの支援を行いました。

#### ④褥瘡対策委員会

褥瘡対策委員が中心となり他職種各々のスキルを活かし多方面から1人ひとりの対象者の情報を持ち合い100%、360度の視点で観られる状況を構築するのが理想ではありますがまだそこまでは辿りつけておりません。褥瘡発生の確認は施設長に状態報告、ラウンド、指示受けをして多職種とコミュニケーションをとりながら褥瘡の状態にあった薬剤、軟膏、テープを用い対象者に合わせた体位変換、クッション、マットレス使用を実践しました。

施設内で6月に全職員対象に褥瘡予防の為に体位交換の必要性についての研修を行いました。今年度の褥瘡有病率は1.64%でした。引き続き多職種との対話を充実することで、良い対策、予防策を立案し褥瘡有病率0.00%に近くなるよう努力します。

#### ⑤感染対策委員会

感染対策委員会が中心となり感染症の流行状況を把握し感染予防に努めるのは変わらず同じです。今年度も昨年度に続き、コロナ中心の社会、生活でした。

新型コロナウイルス感染対策を優先し、利用者、家族にも制限を設けさせていただきました。今後は徐々に面会制限が緩和されていく予定ですが、引き続き感染対策を継続し、感染予防に努めていきたいと思っております。その他の感染症に関しても発生状況の把握に努め情報提供を行い利用者・職員の感染予防を行いました。

#### ⑥接遇向上委員会

接遇委員を中心に、利用者と職員を対象に接遇アンケートを行い、日々の業務での接遇の見直しを行いました。昨年度に引き続き、接遇スローガンを職員から公募し施設内に掲示、朝礼で職員周知する活動を行いました。また、1月には接遇委員が、接遇マナーについての内部研修を実施し、利用者に対して心のこもった対応ができるようグループワークを行いました。次年度も職員の接遇に対する意識が向上するような取り組みを継続します。

#### ⑦ターミナルケア（倫理委員会）

2021年度は利用者2名の人生の最終段階である医療ケア＝ターミナルケアをさせていただきましたが、2022年は対象となる利用者はいませんでした。まだまだターミナルケアに関しては十分な知識を持っているとは言えませんが研修等の学びを通じて質の向上とスキルアップをし、貴重な体験を今後に活かします。

#### ⑧リハビリテーション体制の充実と支援

在宅強化型算定の条件である充実したリハビリテーションの提供のために2021年12月から利用者に週3回以上のリハビリテーションを提供する体制を継続しています。

また、利用者へのリハビリテーションが必要に応じて適切に介入できているか定期的にミーティングで検討し情報共有を行いました。今後も、提供するリハビリの量だけでなく、その質も向上が図れるように取り組みます。また、リハビリテーション職員が協働して支援するよう努めます。

#### ⑨口腔衛生管理の強化

生活の楽しみである食事を安全に続けられるように、看護職員、口腔係を中心とした介護職員、言語聴覚士等多職種で連携し、経口維持計画に沿って口腔ケア、食事時の姿勢・頭の角度・開口の状態・飲み込みの動作の観察、睡眠時は「silent aspiration」を起こさないポジショニング等を確認しながら支援しました。肺炎を予防するためにも口腔内の清潔を保持するため負担の少ない口腔衛生管理を行いました。

#### ⑩栄養管理

医師、言語聴覚士、管理栄養士など多職種が協力し、美味しく安全な食事摂取ができるように療養食の提供や栄養管理を行いました。今後も利用者の健康の維持・増進が図れるように取

り組み、「楽しく食べること」をサポートします。

#### ⑪余暇活動の提供

施設での生活を活動的に過ごせるよう余暇活動や集団レクリエーションを行いました。YouTube のラジオ体操や軽体操、やまべエ体操等の集団体操の他に、職員と一緒に塗り絵や季節の装飾作り、おしぼり・ウエス作り等手を動かす活動を行いました。午後の時間を中心に棒サッカーやボーリング等を行い、楽しく身体を動かすことができました。カラオケ機器を新規購入したことにより好みに合った曲が増えた為、利用者が歌う機会が増えました。次年度も楽しみのある施設生活を送れるよう、余暇係の職員を中心に取り組みます。

#### ⑫排泄介助

ケアプランをもとに、利用者の状況に合わせた排泄介助を行いました。尿測を行う等により適切なおむつ類を使用する統一したケアを行うために、介護職員が日々のミーティングで検討・情報共有を行いました。今年度のおむつ代は、3,647,712 円でした。次年度は、排泄係の職員を中心に清潔保持・費用削減に取り組みます。

### (2) 在宅復帰・在宅支援

在宅復帰は介護老人保健施設の使命です。利用者・家族の意向を確認し、継続して在宅復帰の支援を行いました。現在入所中の軽度要介護者についても安心して自分らしく地域で生活して頂けるよう在宅復帰への支援を行いました。重度要介護者については、特別養護老人ホーム等の終の棲家で生活できる期間までの長期療養支援を行いました。

### (3) 人財育成の強化

#### ①職員研修

長引くコロナ禍で、昨年と同様に外部研修は ZOOM での視聴が殆どでした。今年度もコロナに明け暮れた 1 年でしたが、職員が感染症についてより知識が深くなり、個々で感染予防に注意をするようになりました。内部研修はマスクを装着し、換気をして講義を行いました。今後もリモートや画面を介しての研修、会議等が主流だと思いますが、コロナが 5 類になる頃には対面での研修が多くなることを期待し、外部研修を職員に活発に発信していきます。

内部研修は、介護保険法や札幌市からの指導による研修内容や実施回数について計画したものを教育係及び各委員会の企画、運営で行いました。

- a. 外部研修 実績なし
- b. 内部研修

研修日	研修会名	参加職種	人数
4/19.22	強化型について	全職種	35
5/20.26	ハラスメント対策・個人情報保護法	全職種	47
6/23.27.30	褥瘡予防	全職種	52
7/15.18.21	手洗いチェッカー、吐物処理実践	全職種	57
8/16.18.23	高齢者虐待防止・身体拘束	全職種	57
10/3.7	非常災害時の対応	全職種	53
10/28.31	緊急時の対応	全職種	45
11/22.25.28	2021 年度事故の傾向と対策	全職種	51
12/16.20.23	感染症予防とまん延防止（新型コロナ）	全職種	42
1/24.27.30	接遇について	全職種	48

2/16. 23. 27	危険予知トレーニング (KYT) 研修	全職種	48
3/23. 28. 30	身体拘束を正しく知ろう：気づく力を身に付けよう	全職員	51

※内部研修については通所、居宅、訪問リハ、訪問看護、福井倶楽部合同参加

c. 介護職員の勉強会

介護職員対象の勉強会を下記の通り行い、知識を高めることができました。

5月～6月：「実習指導について」

6月：「支援加算書類の記入の仕方について」

8月：「介護記録について」

2/17：「適切なオムツの選定・使用方法・スキンケアについて」（外部講師：王子ネピア株式会社ケアサポート事業本部 カウンセラーチーム横山氏）

3月：「2/17に実施した研修内容の周知」

(4) 安定した施設運営

在宅強化型の算定を開始し継続することができました。

今後は超強化型（在宅復帰・在宅支援機能加算Ⅱ）の算定を目標とします。

①ベッド利用率は平均93%でした。98.3%以上の目標達成はできませんでした。

②在宅復帰・在宅療養支援等指標60ポイント以上を継続することができました。

3. 平和の杜の概況

① 職員配置

2023年3月末現在

	施設長	支援専門員	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	1	1	1	8	19	1	1	0	0
配置数	1	3	4	10	30	2	11	6	4

※医師は施設長、医師・管理栄養士・事務員・施設管理は通所リハも兼務

支援相談員は、2名介護支援専門員と兼務、1名事務職員と兼務。管理栄養士は、2名通所リハと兼務。リハビリ職員は、10名通所リハ、訪問リハ、訪看と兼務。

②利用者の状況

a. 利用者定員 80名（一般棟40名・認知症専門棟40名）

b. 月平均の1日の入居者数

2023年3月末現在

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
75.6	75.5	76.4	71.7	69.5	70.6	72.8	73.8	78.2	77.9	77.6	76.9	74.4

c. 利用者の年齢構成

2023年3月末現在

	65才未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	平均年齢
男性	1	4	5	9	6	81.1
女性	0	2	8	14	26	87.4
合計	1	6	13	23	32	85.3

d. 利用者の介護度

2023年3月末現在

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	平均介護度
利用者	23	19	13	15	5	2.47

③地域との連携

a. 「杜のこえ」の発行（毎月）

b. 病院・居宅介護事業所との連携

c. 専門学校（介護）への講師

d. 町内会への参加

e. 神社や町内会行事への寄付

f. 敷地内を保育園児に開放

④実習の受け入れ

- a. 介護福祉士養成課程実習
- 札幌医療秘書福祉専門学校
    - 5/23～6/23 2年生 4名
    - 7/11～7/22 1年生 3名
    - 10/24～11/16 1年生 3名
  - 北海道福祉大学校
    - 6/22～7/27 2年生 2名
    - 10/26～11/23 1年生 3名
- b. 理学療法士養成実習
- 札幌医学技術福祉歯科専門学校
    - 10/17～10/21 1年生 2名
  - 札幌医科大学
    - 2/13～2/24 3年生 2名

⑤防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。  
 定期の消防設備点検を実施しました。

⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。  
 第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（ ）	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑦各種会議・委員会実施状況

会 議 等	実績	委 員 会 等	実績
運営会議	12回	感染対策委員会	14回
給食会議	12回	褥瘡対策委員会	12回
入所判定会議	37回	事故防止対策委員会	12回
サービス担当者会議	95回	虐待防止・身体拘束廃止委員会	12回
経口維持会議	12回	接遇向上委員会	12回

⑧行事等実施状況

4月	春のお茶会 桜を咲かせよう	10月	和パフェ作り 秋の運動会
5月	春の運動会 ドキドキ危機一髪ゲーム	11月	旭山動物園上映会 ボーリング大会



6月	ケーキ喫茶（セレクト） パフェの日	12月	夕食忘年会 マジック show
7月	七夕まつり 西瓜割り	1月	新春カラオケ大会 フライング福笑い
8月	夏祭り かき氷だ！宇治金時だ！	2月	豆まき大会 鬼退治&節分お茶会
9月	敬老会	3月	桃の節句 春のすごろく大会

## (2) 平和の杜 通所リハビリテーション

### 1. 2022(令和4)年度事業報告について

2022年度も新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、リハビリや入浴等の介護支援を継続しました。送迎時の検温、手指消毒、施設内の定時消毒、感染状況を見極めながらの新規利用者の受け入れ、外出行事の中止等感染リスクを避けながらサービス提供に取り組みました。コロナ禍での生活に職員だけではなく利用者や家族も慣れ、感染対策は日常的なものとなりましたが、利用者は屋外へ出ることが制限されることによって日常生活の活動量が慢性的に低下し、身体機能の低下に加え意欲の低下にも繋がっていました。廃用により在宅生活が困難となり施設等へ入居された方も増加傾向だったほか、持病の悪化によって死去された方も多く、利用者数は減少したままとなっています。

次年度は感染対策も緩和し、これまで自粛していた外出行事やシナプソロジーを再開するなど意欲を取り戻し、充実感のあるサービス提供に努めるほか、月の利用者数 550 名を目指します。

### 2. 通所リハビリテーションの概況

#### ① 職員配置

2023年3月末現在

	施設長	支援相談員	看護職員	介護職員	管理栄養士	リハビリ	事務員	施設管理
定数	(1)	0	0	4	(1)	(1)	0	0
配置数	(1)	(1)	1	8	(2)	(9)	(4)	(4)

( ) は兼務

#### ② 利用者の状況

a. 利用者定員 40名（要支援者含む）

b. 1日当りの平均利用者数（前年度の平均は25.0名でした。）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
22.1	24.2	23.3	22.6	19.1	22.8	23.1	21.8	23.5	23.6	23.0	23.2	22.7

c. 利用者の年齢構成

2023年3月末現在

	65未満	65~69	70~79	80~89	90才以上	合計
男性	3	1	8	17	7	36名
女性	0	1	3	9	9	22名
合計	3	2	11	26	16	58名

d. 利用者の介護度

2023年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	要支援1	要支援2	合計
27	9	2	4	0	9	7	58名

### 3. 事業内容

#### ① 計画内容

a. 個別性の高い自立した生活について

介護支援専門員作成の計画書に合わせ、目標に考慮し個別性のある計画書作成に努めました。また専門用語を使用せず誰が見てもわかりやすい計画書を作成しました。

#### ② 充実した生活について

a. 療養・健康管理・生活相談

利用者の治療中の疾患や既往歴の把握を行い、主治医の指示の下で内服管理・軟膏処置等の支援を行いました。近年は訪問看護の利用も増加傾向となり、各訪問看護ステーショ

ンとの連携を図り病状管理に努めたほか、日々の生活全般支援については地域包括支援センターや各居宅介護支援事業所と情報交換を密にして、個々の生活支援に対応しました。

b. 送迎サービス

乗車前のマスク着用や検温、体調確認を行い、体調が優れない方の早期発見・早期対応によって施設内に病気を持ち込まないようにしたほか、乗車時の手指消毒や車内換気を継続するなど感染対策に努めました。また、走行時は制限速度順守や段差回避等路面状況に合わせた運転の励行により大きな事故なく送迎支援を行いました。

c. 事故予防

「ひやりはっと報告」があった際には、24時間以内に検討会議を実施し、職員全員で情報交換・事故防止対策方法を共有するようにすることで、事故発生の防止に努めました。

4. 感染対策強化について

a. 利用中のマスクの着用、乗車前の検温や体調確認、昼食後の再検温、随時手指消毒、定時施設内消毒、換気などを行い、安心して利用いただけるよう感染対策を強化しました。

5. 職員のスキルアップについて

a. コロナ禍ということもあり、外部研修への参加は出来ませんでした。毎日のミーティングを利用してミニ勉強会を実施したほか、業務マニュアルを作成して基本業務の見直しを行いました。日々の介護に従事する中で、経験の浅い職員に対するベテラン職員による介護指導や助言等を繰り返すことで、介護技術が向上し利用者に安全な支援が出来るようになってきました。また、月行事を担当制にすることで担当職員の個性があふれた新たな催しを提供することが出来ました。

g. 各種会議・委員会

会議等	実績	委員会等	実績
通所会議	12回	事故予防委員会	82回
業務改善会議	12回	感染対策委員会	12回
接遇向上委員会	12回		

h. 行事等実施状況

行事		行事	
皆でつながろうリレー	4/18～4/22	鍋&ゲーム大会	11/21～11/25
花より団子満腹昼食会	5/23～5/27	ウィンターフェスティバル	12/20～12/22
対決列島～陣取り合戦～	6/20～6/24	新年ビンゴ大会	1/2～1/3
サマーフェスティバル	7/19～7/21	職員対決ゲーム	1/16～1/20
納涼ビンゴ大会	8/22～8/26	イントロかるた	2/20～2/24
敬老・ご長寿クイズ大会	9/19～9/23	映画上映会	3/20～3/24
秋喫茶	10/17～10/21		

②内部研修

P5介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、居宅、福井倶楽部合同参加

③苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

④防災対策の充実

防火（避難）訓練を2回（防災協会立会1回）実施しました。

定期の消防設備点検を実施しました。

### (3) 平和の杜居宅介護支援事業所

#### 1. 2022(令和4)年度事業報告について

2022年度は利用者数の増加を目標として、併設の事業所（介護老人保健施設、通所リハビリテーション、訪問看護ステーション、訪問リハビリテーション、グループホーム）があることを地域包括支援センターや病院などへ周知したこともあり、ケアプラン作成件数を前年度より200件以上増やすことができました。

また、感染対策を強化しながら定期的な訪問を行い、利用者が感染の不安から必要なサービスを受けずに不自由な生活を過ごさないための配慮を行いました。

2023年度も引き続き利用者が在宅生活を快適に送っていただけるように、適切な支援を行い利用者や家族・紹介先から信頼される事業所を目指します。

#### 2. 平和の杜居宅介護支援事業所の概況

##### ①職員配置数

2023年3月末現在

職 種	管 理 者	介護支援専門員
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	8(2)

( )は兼務

##### ②利用者の状況

###### a. 要介護（国民健康保険連合会請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
194	208	216	205	205	210	203	199	219	209	204	196	2,468件

###### b. 要支援（地域包括支援センター請求分）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
39	46	48	47	49	56	53	58	52	54	55	55	612件

##### ③相談援助

###### 訪問相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
207	224	232	221	222	229	221	219	237	227	223	214	2,676件

##### ④その他（年間件数） 2021年4月～2022年3月分

###### a. 認定手続代行者数    b. 新規契約者数    c. 契約満了者

138件

84件

73件

※b・cは介護予防者を除く

###### d. 利用者紹介元

利用者の紹介元	件数
病院	11
地域包括支援センター	31
他事業所	14
家族	13
要支援→要介護	11
その他	4
合計	84件

###### e. 利用者の移行先 2022年4月～2023年3月

利用者の移行先	件数
病院	14

介護施設	13
サ高住等	4
死亡	33
要介護→要支援	7
その他	6
合計	77件

⑤委員会

会議等	実績	委員会等	実績
居宅会議	50回	感染対策委員会	12回
		身体拘束廃止委員会	12回

⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

⑦職員研修等

a. 内部研修

P5 (1) 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、訪リハ、訪看、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月 日	研修会名	主催	人数
7/22	札幌市介護予防支援・介護予防日常生活支援総合事業	西区三包括	2
10/24	8050 問題の連携に向けて～障害の相談室や障害福祉サービス、8050 ケースなど～	札幌市介護支援専門員連絡協議会 西区支部	1
3/8	スーパーヴィジョン実践への道 Part2	札幌市	1
3/10	ターミナルケアにおける理学療法士の役割について	イム札幌訪問看護ステーション	2

・他法人との事例検討会：五天山園、宏友会、札幌西、はっさむはると実施【6/9 (3名)・11/9 (4名)・2/9 (3名) 出席】

・地域包括センター主催の事例検討会参加：5/18 西区第一包括主催 (2名参加)  
6/9 西区第二包括主催 (1名参加)

## (4) 平和の杜訪問リハビリテーション

### 1. 2022(令和4)年度事業報告について

2022年度は58名の利用者に訪問リハビリテーションを実施することができました。また、理学療法士・作業療法士・言語聴覚士が総合的に介入することにより利用者の生活ニーズについて把握し、心身機能の維持や回復を図り、生活の質を高めるための支援ができるように職員一同自己研鑽を積み業務に従事しました。また、利用者がいつまでも地域で自立した在宅生活を送ることが出来るよう支援しました。

### 2. 平和の杜訪問リハビリテーションの概況

#### ①職員配置数

2023年3月末現在

職 種	管 理 者	理学療法士等
定 数	(1)	(1)
配 置 数	(1)	(8)

( )は兼務

#### ②リハビリ実施件数(要介護、要支援) 2022年4月～2023年3月

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
386	379	454	416	458	479	487	515	512	408	420	485	5,399件

#### ③相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
2	4	2	3	5	3	5	2	2	3	5	3	40件

#### ④実施地域

西区	中央区	手稲区	北区
44名	8名	5名	1名

#### ⑤利用者の転帰先(2022年4月～2023年3月)

利用者の転帰先	件数
通所リハビリ、通所介護	0
入院	6
その他	7
合計	13件

#### ⑥苦情解決状況

第三者委員への申し立ては0件でした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

##### a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

##### b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0

##### c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0

e	その他 ( )	0
---	---------	---

e	権利侵害	0
f	その他 ( )	0

⑦職員研修等

a. 内部研修

P5 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、訪看、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月 日	研修会名	場 所	人数
10/15	北海道訪問リハビリテーション実務者研修会	ZOOMを使用したWeb研修会	1



## (5) 平和の杜 訪問看護ステーション

### 1. 2022（令和4）年度事業報告について

2018年10月に訪問看護ステーションを開設し、今年度で5年目を迎えました。人員不足により、前年度の3月から緊急時対応を中止しなければならず、それに伴い利用者数も減っている状況です。

看護師の資質向上のための事例検討やカンファレンスは十分には行えず、サービスの質の評価のための利用者アンケート等もできていなかったため、来年度は見直し取り組んでいきたいと思っております。

### 2. 平和の杜訪問看護ステーションの概況

#### ①職員配置数

2023年3月末現在

職種	常勤	非常勤	備考
管理者（看護師）	（1）		看護師と兼務
看護師	3（1）		1名管理者と兼務
リハビリ職員	（4）	（1）	平和の杜・平和の杜通所リハビリテーション・平和の杜訪問リハビリテーションと兼務
事務職員	（3）		平和の杜と兼務

（ ）は兼務

#### ②利用者の状況

##### a. 要介護

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	9	9	9	9	8	8	8	7	6	6	4	5	444
延べ回数	42	43	43	36	41	38	36	37	41	39	20	28	

##### b. 要支援

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	91
延べ回数	5	7	6	6	6	6	6	7	11	10	10	11	

##### c. 医療

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	3	4	4	3	1	2	2	2	2	2	3	4	321
延べ回数	23	37	49	22	1	22	28	28	30	27	23	31	

##### d. 合計

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実人数	14	15	15	14	11	12	12	12	11	11	10	12	856
延べ回数	70	87	98	64	48	66	70	72	82	76	53	70	

#### ③相談件数

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
1	0	1	1	0	0	0	2	2	3	3	3	16

#### ④その他（2023年3月現在）

指示書発行機関 12 機関

指示書発行医師数 12 名

##### e. 利用者紹介元

2022年4月～2023年3月

利用者の紹介元	件数

病院・クリニック	1
地域包括支援センター	2
介護施設	0
居宅介護支援事業所	17
家族	0
その他	0
合計	20

f. 利用者の移行先 2022年4月～2023年3月

利用者の移行先	件数
病院	3
介護施設	2
他のステーション	2
その他	1
合計	8

⑤ 苦情解決状況

第三者委員への申し立てはありませんでした。

第三者委員には、下記の内容について定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他 ( )	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他 ( )	0

⑥ 職員研修等

a. 内部研修

P5 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、居宅、訪リハ、福井倶楽部合同参加

b. 外部研修

月 日	研修会名	場 所	人数
1/28	BCP策定へのSTEP、訪問看護のエンゼルケア	オンライン開催	1

### Ⅲ グループホーム 福井倶楽部

#### 1. 2022（令和4）年度事業報告について

2022年度は昨年同様、コロナ禍でも充実した時間を過ごし、利用者・家族ともに安心していただけるようサービス提供に努めました。昨年から引き続き管理栄養士の指導を受け、毎日の食事に新しいメニューを取り入れ、行事や誕生日の献立を工夫し、おやつ作りにも力を入れることができました。また、余暇の充実や畑仕事、個別の体操を継続し、ドライブや散歩で少しずつですが外出する機会が増え有意義な時間を過ごすことができました。担当職員から家族への定期的な手紙の送付や電話でのこまめな近況報告を行い、月に一度写真を送付しました。また希望者には自ら手紙や電話でご家族に近況報告を行う支援を継続しました。面会は昨年よりも増え、利用者もご家族も安心できた様に思います。

今後は感染対策も緩和されていきますので、更に外出の機会や家族との交流の場を増やし、利用者、家族がともに安心して安全で穏やかに過ごせるように支援します。

#### 2. 福井倶楽部の概況

##### ①配置職員

2023年3月末現在

	管 理 者	計画作成担当者	介 護 職 員	看 護 職 員
定 数	(1)	1	3	(1)
配 置 数	(1)	(1)	5 (2)	1

\*管理者は介護職員を兼務。\*計画作成担当者は介護職員を兼務。

\*（ ）は兼務者の人数。

##### ②利用者の状況

a. 利用者定員 9名

b. 入・退所状況 (直近3ヶ月)

	1月	2月	3月
入 居 者	0	0	0
退 居 者	0	0	0

c. 利用者の介護度内訳

2023年3月末現在

要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5
6	1	2	0	0

#### 3. 事業内容

##### ①地域とのかかわり

2022年度は町内会の行事は全て中止でしたが、ホームの広報誌を回覧板で回していただいたり、町内の方に運営推進会議(現在は書面会議)に参加していただいたり、地域の中のグループホームとして活動することができました。

##### ②サービス

個別性とストレスのない穏やかな生活をテーマにサービスを提供しており、明るく家庭的な雰囲気です。寄り添う介護ができました。

##### ③事故報告

転倒2件(骨折1件 裂傷1件)

##### ④職員研修

a. 内部研修

P5 介護老人保健施設 平和の杜に記載。

内部研修については入所、通所、訪リハ、訪看、居宅等合同参加

b. 外部研修

北海道高齢者虐待防止推進研修会（オンデマンド）7名

⑤ 苦情解決の状況

第三者委員への苦情の申し立てはありませんでした。

第三者委員には、定期報告をしました。

a. 【苦情受付状況】

項 目	件数
苦情受付数	0
うち 未解決件数	0
第三者委員への通知	0

b. 【相談の分類】

項 目	件数
a ケアの内容に関わる事項	0
b 個人の嗜好・選択に関わる事項	0
c 財産管理・遺言・遺産等に関わる事項	0
d 制度・試策・法律に関わる要望	0
e その他（ ）	0

c. 【苦情の想定原因】

項 目	件数
a 説明・情報不足	0
b 職員の態度	0
c サービス内容	0
d サービス量	0
e 権利侵害	0
f その他（ ）	0

⑥ 外部評価の実施

免除の為実施していません。

## 事業報告の附属明細書

2022（令和 4）年度事業報告には、社会福祉法施行規則第 2 条の 25 第 3 項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」に該当する事項はありません。

社会福祉法人 杜の会

理事長 大橋 俊男